

業務プロセス(Business process)

業務プロセスのモデリングと管理、改善

業務プロセスのモデリングの目的:業務プロセスの可視化 → 関係者間で業務の流れ、必要なもの(リソース(Resource))、使われる用語などを共有

BPMN(Business Process Model and Notation):業務プロセスの流れを視覚的に表現するための標準的な記法

BPM(Business Process Management):継続的に業務プロセスの効率化を目指す管理手法。改善するサイクルを継続的に繰り返す(PDCA サイクル)

BPR(Business Process Reengineering):今までの業務プロセスやルールを抜本的に見直す

RPA(Robotic Process Automation):同じような(定型的な)パソコン作業を、ソフトウェアロボットで自動化する(PC 作業の自動化、事務処理の効率化)

データと情報の管理

DFD(Data Flow Diagram):データの流れに着目。業務のデータの流れと処理の関係を表す

記述されるものは4つ:①プロセス(Proceses) ②データの源泉と吸収先 ③データフロー(Dataflow) ④データストア(Datastore)

E-R 図(Entity-Relationship Diagram):データベースの設計をするときに使う図

実体(Entity)は、物理的な物(例えば「商品」や「従業員」)や、概念的なもの(例えば「注文」や「コース」)など、情報として管理する必要があるもの

エンティティ(Entity)とエンティティの関係(Relationship)を線で結び、その関係性を視覚的に示す

アクティビティ図(Activity Diagram):システムやプロセスの流れを視覚的に表現するための図。作業の順序や条件分岐を示すのに使われる

業務で必要となる人の役割を表現できる(それぞれの作業がどの担当者によって行われるかを表現できる)

技術とシステム

M2M(Machine to Machine):機械同士がネットワークを通じて、人間の介入なしに直接通信し、データを交換する技術

CMS(Contents Management System):WordPress や Google Sites、Wix、Shopify などの Web ページのコンテンツを管理するシステム

グループウェア(Groupware):チームやグループで一緒に作業するためのソフトウェア

ワークフローシステム(Workflow System):仕事の手順や流れをコンピュータで管理するシステム → 申請から承認までの手続きを行う

経済モデルと働き方(現代のトレンドと変化)

シェアリングエコノミー(Sharing Economy):物やサービスを共有することで成り立つ経済モデル

個人や企業が所有している資産(例えば、車、家、スキルなど)を他の人と共有することで、資源の効率的な利用を促進し、経済的価値を生み出す仕組み

テレワーク(Telework):オフィス(Office)以外の場所で仕事することを指す働き方

BYOD(Bring Your Own Device):自分の(私物の)PC やスマートフォンを仕事(業務)で使う

マーケティングと顧客関係

ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service(SNS)): → 顧客のブランドロイヤリティ(Brand Loyalty)向上のために使う

Just In Time(JIT):必要なものを、必要なときに、必要な量だけ作る → 半製品(次の工程で使われるために保管されている中間製品)、仕掛品(今、作業している製造中の製品)、在庫を減らす

業務プロセス(Business process)

業務プロセスのモデリングと管理、改善

業務プロセスのモデリングの目的:業務プロセスの可視化 → 関係者間で業務の流れ、必要なもの(リソース(Resource))、使われる用語などを共有

BPMN(Business Process Model and Notation):業務プロセスの流れを視覚的に表現するための標準的な記法

BPM(Business Process Management):継続的に業務プロセスの効率化を目指す管理手法。改善するサイクルを継続的に繰り返す(PDCA サイクル)

BPR(Business Process Reengineering):今までの業務プロセスやルールを抜本的に見直す

RPA(Robotic Process Automation):同じような(定型的な)パソコン作業を、ソフトウェアロボットで自動化する(PC作業の自動化、事務処理の効率化)

データと情報の管理

DFD(Data Flow Diagram):データの流れに着目。業務のデータの流れと処理の関係を表す

記述されるものは4つ:①プロセス(Proceses) ②データの源泉と吸収先 ③データフロー(Dataflow) ④データストア(Datastore)

E-R図(Entity-Relationship Diagram):データベースの設計をするときに使う図

実体(Entity)は、物理的な物(例えば「商品」や「従業員」)や、概念的なもの(例えば「注文」や「コース」)など、情報として管理する必要があるもの

エンティティ(Entity)とエンティティの関係(Relationship)を線で結び、その関係性を視覚的に示す

アクティビティ図(Activity Diagram):システムやプロセスの流れを視覚的に表現するための図。作業の順序や条件分岐を示すのに使われる

業務で必要となる人の役割を表現できる(それぞれの作業がどの担当者によって行われるかを表現できる)

技術とシステム

M2M(Machine to Machine):機械同士がネットワークを通じて、人間の介入なしに直接通信し、データを交換する技術

CMS(Contents Management System):WordPress や Google Sites、Wix、Shopify などの Web ページのコンテンツを管理するシステム

グループウェア(Groupware):チームやグループで一緒に作業するためのソフトウェア

ワークフローシステム(Workflow System):仕事の手順や流れをコンピュータで管理するシステム → 申請から承認までの手続きを行う

経済モデルと働き方(現代のトレンドと変化)

シェアリングエコノミー(Sharing Economy):物やサービスを共有することで成り立つ経済モデル

個人や企業が所有している資産(例えば、車、家、スキルなど)を他の人と共有することで、資源の効率的な利用を促進し、経済的価値を生み出す仕組み

テレワーク(Telework):オフィス(Office)以外の場所で仕事をするを指す働き方

BYOD(Bring Your Own Device):自分の(私物の)PC やスマートフォンを仕事(業務)で使う

マーケティングと顧客関係

ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service(SNS)): → 顧客のブランドロイヤリティ(Brand Loyalty)向上のために使う

Just In Time(JIT):必要なものを、必要なときに、必要な量だけ作る → 半製品(次の工程で使われるために保管されている中間製品)、仕掛品(今、作業している製造中の製品)、在庫を減らす

業務プロセス(Business process)

業務プロセスのモデリングと管理、改善

業務プロセスの目的: 業務プロセスの可視化 → 関係者間で業務の流れ、必要なもの(リソース(Resource))、使われる用語などを共有
: 業務プロセスの流れを視覚的に表現するための標準的な記法
: 継続的に業務プロセスの効率化を目指す管理手法。改善するサイクルを継続的に繰り返す(PDCA サイクル)
: 今までの業務プロセスやルールを抜本的に見直す
: 同じような(定型的な)パソコン作業を、ソフトウェアロボットで自動化する(PC作業の自動化、事務処理の効率化)

データと情報の管理

: データの流れに着目。業務のデータの流れと処理の関係を表す
記述されるものは4つ: ①プロセス(Processes) ②データの源泉と吸収先 ③データフロー(Dataflow) ④データストア(Datastore)
: データベースの設計をするときに使う図
実体(Entity)は、物理的な物(例えば「商品」や「従業員」)や、概念的なもの(例えば「注文」や「コース」)など、情報として管理する必要があるもの
エンティティ(Entity)とエンティティの関係(Relationship)を線で結び、その関係性を視覚的に示す
: システムやプロセスの流れを視覚的に表現するための図。作業の順序や条件分岐を示すのに使われる
業務で必要となる人の役割を表現できる(それぞれの作業がどの担当者によって行われるかを表現できる)

技術とシステム

: 機械同士がネットワークを通じて、人間の介入なしに直接通信し、データを交換する技術
: WordPress や Google Sites、Wix、Shopify などの Web ページのコンテンツを管理するシステム
: チームやグループで一緒に作業するためのソフトウェア
: 仕事の手順や流れをコンピュータで管理するシステム → 申請から承認までの手続きを行う

経済モデルと働き方(現代のトレンドと変化)

: 物やサービスを共有することで成り立つ経済モデル
個人や企業が所有している資産(例えば、車、家、スキルなど)を他の人と共有することで、資源の効率的な利用を促進し、経済的価値を生み出す仕組み
: オフィス(Office)以外の場所で仕事をすることを指す働き方
: 自分の(私物の)PC やスマートフォンを仕事(業務)で使う

マーケティングと顧客関係

: → 顧客のブランドロイヤリティ(Brand Loyalty)向上のために使う
: 必要なものを、必要なときに、必要な量だけ作る → 半製品(次の工程で使われるために保管されている中間製品)、仕掛品(今、作業している製造中の製品)、在庫を減らす

Business Process

Modeling, Managing, and Improving Business Processes

Purpose of Business Process Modeling:

Visualizes processes, facilitating shared understanding of workflows, resources, and terminology.

BPMN(Business Process Model and Notation): Standard notation for visualizing business process flows.

BPM (Business Process Management): Continuous improvement of business processes using iterative cycles (PDCA).

BPR (Business Process Reengineering): Radical restructuring of existing processes and rules.

RPA (Robotic Process Automation): Automates repetitive PC tasks, enhancing office work efficiency.

Data and Information Management

DFD (Data Flow Diagram): Visualizes the flow and processing of data in business.

Components: Processes, Data sources/sinks, Data flows, Data stores.

E-R Diagram: Represents entities (e.g., products, employees) and their relationships in database design.

Activity Diagram: Visualizes system/process flows, showing task order and conditional branches.

Able to express the roles required in a task (able to indicate which tasks are performed by which responsible person).

Technology and Systems

M2M (Machine to Machine): Enables machines to exchange data over networks without human intervention.

CMS (Content Management System): Manages web content (e.g., WordPress, Wix).

Groupware: Facilitates team collaboration.

Workflow System: Manages work procedures, from application to approval.

Economic Models and Work Styles

Sharing Economy: Promotes resource efficiency by sharing assets (e.g., cars, houses).

Telework: Allows work to be done outside the office.

BYOD(Bring Your Own Device): Using personal devices for work.

Marketing and Customer Relations

SNS(Social Networking Service): Enhances customer brand loyalty.

JIT(Just In Time): A production method where items are made only when needed, in the exact amount needed.

This helps reduce **semi-finished products** (parts stored for the next step), **work-in-progress** (items still being made), and **finished goods** (completed items kept in stock before shipment or use).